

# 通 告 質 問 一 覧 表

(平成30年3月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	4	2 番 平 松 賢 司	<p>1 稲作農家の振興対策について</p> <p>(1) 本市農業の基幹作物は稲作と認識しているが、どのように考えているか</p> <p>(2) 本市の農家戸数、水稻作付面積は、ともに10年前に比べ減少していると思われるが、実際にはどうなっているのか</p> <p>(3) この減少の原因を、私は長年続けてきた大規模農家優先で、小規模農家や兼業農家を切り捨ててきた国の政策にあり、それに従ってきた市の農業政策にあると考えるが、どのように受けとめているのか</p> <p>(4) 今後稲作経営をどのように位置づけ、振興を図るのか</p> <p>(5) 本市の農業施策は、小規模だが稲作収入に加えて果樹、野菜栽培を組み合わせた複合経営や、他の企業で働きながら農業に取り組む兼業経営を中心に進めるべきではないか</p> <p>(6) 米の生産費を償い所得を補償していき、今後も小規模農家が生産を続けられるよう米の価格補償制度をつくるよう国に要望すべきではないか</p> <p>(7) ふるさと納税の返礼品の米について、吉備中央町の制度を見習い、拡大してはどうか</p>
2	6	12 番 小 林 重 樹	<p>1 高梁市図書館について</p> <p>(1) 開館から1年以上過ぎ、当初の予想をはるかに上回る入館者が市内外より訪れ、高梁市の知名度アップにつながったが、現在までの総括について問う</p> <p>① その中でどのような課題、問題点が浮かび上がったのか</p> <p>(2) 平成29年10月28日から11月5日の間にCCCが来館者へのアンケート調査を実施しているが、その内容と結果を市はどのように分析しているのか</p> <p>(3) 駅東側にある図書館駐車場の利用状況と利用率向上について問う</p> <p>2 行財政改革プランについて</p> <p>(1) 平成29年度から平成33年度までの計画推進期間中における具体的な進捗管理はどのようになっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	6	12 番 小 林 重 樹	<p>(2) 行財政改革の基本方針について</p> <p>① 行政運営改革の実施項目の1つに職員定数の管理を上げているが、平成33年度末での適正職員定数はどのくらいを見込んでいるのか</p> <p>② 働き方改革の推進とはどのようなものなのか</p> <p>③ 新たな財源の確保の中でふるさと納税の拡充も上がっているが、その方法について問う</p> <p>④ 徴収体制の強化には、ひとり暮らし世帯や外出困難者への対応も入っているのか</p> <p>3 平成30年度予算と施策について</p> <p>(1) 「住んでよかった、住み続けたいまち高梁」を実現するための予算として編成した中で、総合計画の重点プロジェクトにも掲げられ、市の最重要課題でもある定住促進については、どのような施策を上げているのか</p> <p>(2) 地方交付税が年々減額されている中で、地方自治体として持続可能な財政計画はできているのか</p> <p>(3) 重点課題として新規事業で取り上げている子育て支援の事業費と内容は、十分予算に反映されているのか</p>
3	5	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 基金残高と地方交付税について</p> <p>(1) 基金残額によって地方交付税の増減が検討されている。市としての受け止め方や対応はどう考えているのか</p> <p>2 高梁市行財政改革プランについて</p> <p>(1) 地域局や市民センターの組織体制と業務の見直しを図るとあるが、どのような内容なのか</p> <p>(2) 窓口業務への民間委託を進めるとある。個人情報やプライバシーでの問題はないのか</p> <p>3 市道、農道の修繕や改良について</p> <p>(1) 新年度予算が示されたが、市民から出された要望に十分対応しているのか</p> <p>4 児童の安全対策について</p> <p>(1) 川面地域市民センター前の踏み切り付近の交差点について</p> <p>(2) 津川小学校進入路の安全対策について</p> <p>5 第4種踏み切りの汽笛について</p> <p>(1) 昨年春ごろからJR西日本は安全対策として第4種踏み切りの手前で汽笛を鳴らしている。昼夜問わずの汽笛音に対して近隣住民が苦痛を訴えている。市とJR西日本の協議はどうなっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	5	11 番 宮 田 好 夫	6 定住施策について (1) 定住を考える時、市長から伯備線沿いは有力であるとの発言があったが、具体的な施策はどうなっているのか
4	1	15 番 川 上 博 司	1 教育施策の推進について (1) 学校の業務改善のための取り組みに当たり、教育委員会主体の総合的な業務改善プランが必要ではないか (2) 部活動の顧問については外部人材を積極的に活用すべきではないか (3) 新学習指導要領に対応したがん教育の普及・啓発について、どのように取り組んでいくのか (4) 学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について、どのように取り組んでいるのか 2 AED（自動体外式除細動器）設置について (1) 24時間（特に夜間）に対応するための方策はどのように検討されたのか 3 産前産後のサポート体制について (1) 妊産婦医療費助成事業はなぜ廃止されるのか。今後の妊産婦に対するサポート体制の充実について、どのような施策を考えているのか
5	3	6 番 三 村 靖 行	1 「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」の基本目標①に掲げている「市内で働き続けることのできる雇用環境を創出する」の進捗状況と新年度予算について (1) 総合戦略の施策の方針として企業誘致と地場産業の振興や新しい産業の創設、新規学卒者の市内就職の促進などがあるが、現在の市内の求人・求職はどのような状況なのか (2) 有効求人倍率は高い状況で推移していると言われていた一方で、市内で働く場所がないといった話も多く聞くが状況はどうか (3) 保育現場や介護現場は特に人手不足と聞くが、新年度予算で何か施策を検討しているのか (4) 働き手がない状況の中で今までに進めてきている定住促進対策をさらに強化する必要があるのではないか。新年度予算で工夫した施策は何か 2 自主防災組織について (1) この制度はいつ立ち上げたのか。今まで結成されている地域はどのくらいあり、割合はどうか

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	3	6 番 三 村 靖 行	<p>(2) この制度の活動内容を聞く</p> <p>(3) 組織を継続することに意義があると思うがどう考えるのか</p> <p>(4) 今後、組織拡大が重要と思うがどのように進めていくのか</p> <p>3 建設・農林事業の要望書の申請制度について</p> <p>(1) 過去3年間、市民からの要望書の申請数はどうなっているのか</p> <p>(2) 要望書に対する達成率はどうなのか。また、実施の順序はどのようにして決定しているのか</p> <p>(3) 申請者（町内会長）は事業要望の代表として関係者から承諾をいただいて要望書を提出しているが、市は長年にわたり回答がなされていない案件がある。なぜなのか聞く</p>
6	9	13 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 福祉政策について</p> <p>(1) 全国で就労継続支援A型事業所の管理運営が問題となっているが、ワークネットうかんに対し市としての指導や支援体制はどのようになっているのか</p> <p>2 農業振興について</p> <p>(1) 「カンゾウ苗」の育苗状態が非常に悪いと聞いているが、苗テラスの運用に問題はないか</p> <p>(2) 三菱ケミカル、グリーンイノベーションとワークネットうかん、農事組合法人うかんハーブの技術指導での連携は十分できているのか。今後の連携の考え方を問う</p> <p>(3) うかんハーブでの第1回目収穫が1月に完了しているが（10アール当たり750キログラム）、産地化を目指す収量や収益は得られると考えているのか。今後の支援体制を問う</p> <p>3 行財政改革について</p> <p>(1) 本市の行財政改革では、市民の皆さんにも一定の理解をいただかなければならないと考える。経費の削減ももちろんであり、中でも出張旅費について、定額で支給されている宿泊料は実費精算すべきと考えるが市の考えを問う</p> <p>(2) 職員採用において技術職員不足が慢性化しているとのこと、今回の未払金の調査でも理由としてあった。今後この問題を解消していくためには、技術職員の採用に際して高校生枠を設けてはどうかと思うが考えを問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	8	1 番 森 和 之	<p>1 公用車へのドライブレコーダー導入について</p> <p>(1) 現在公用車には設置しているのか</p> <p>(2) 設置することで職員の安全運転にもつながり、市内を走る公用車が防犯カメラの役割も果たすと考えるが、導入は考えられないか</p> <p>2 備中松山城の観光について</p> <p>(1) ことしのゴールデンウィークも混雑が予想される備中松山城だが、観光客の受け入れ体制はできているのか</p> <p>① ゴールデンウィーク期間中だけでも高梁市図書館から備中松山城へのバス運行は考えられないか</p> <p>3 保存修理中の旧吹屋小学校校舎について</p> <p>(1) 2020年4月完成と聞いているが、現在の進捗状況は</p> <p>(2) 「学びの拠点」として再生するのだが、具体的な活用は考えているのか</p> <p>(3) 旧吹屋小学校校舎は建築技師江川三郎八氏の設計によるものであり、氏の手がけた建築物は江川式建築とまで呼ばれている。校舎の活用とともに高名な江川氏を顕彰し、観光面での活用を考えられないか</p> <p>4 ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会について</p> <p>(1) 参加希望者が多く、前回大会では8月初旬には参加締め切りの前に申し込み終了となったが、参加者定員の1,000人の枠は見直さないのか</p> <p>① 県外からの申込者は何人いたのか</p> <p>② 終了後に何件の問い合わせがあったのか</p> <p>(2) 自転車ブームの昨今、サイクリストを観光客として捉え地域経済の活性化につなげている自治体もある。高梁市の観光面での取り組みを聞きたい</p>
8	7	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 高梁市が検討している医療計画について</p> <p>(1) 主な死因別対応と検診について</p> <p>① 悪性新生物について検診率の低下をどう捉え、検討されているのか。また、検診率の向上に向け、どのような検討がされ、医療計画に盛り込まれるのか</p> <p>② 急性心筋梗塞について、男女とも全国平均より明らかに高梁市のSMRが高い状況だが、分析と検討はされているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	7	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>(2) 市内医療従事者の高齢化と人手不足について</p> <p>① 医療従事者の確保は、大学の医局からの派遣、個人的な人脈で行われているようだが、市で助勢する手立てはないのか</p> <p>② 吉備国際大学保健医療福祉学部との連携において、コ・メディカルの確保ができないものかと考えるが、現状と課題について問う</p> <p>③ 市内在住、在勤の准看護師の看護師資格取得に対して、奨学金や補助はできないだろうか</p> <p>(3) 救急体制の現状と課題について</p> <p>① 小児救急は市民に切望されるものであるが、現状では困難である。しかし、今回の医療計画の中ではどのような検討がされ、どのような計画が模索されているのか</p> <p>② 二次救急の現状と課題についてどのように分析し、医療計画に盛り込まれようとしているのか</p> <p>③ ウォークインの現状と課題について、また対応する医師、コ・メディカルについても医療計画に上げているのか</p> <p>(4) 診察時間と予約診療について</p> <p>① 現在病院においては、一般外来患者の診察時間と予約診療の診察時間が混同しており、余計な待ち時間を発生させているのではないかと思われる。市民にも、病院にも働きかけ、一般外来患者の診察時間と予約の時間を分け、診察の効率化の提案はできないか</p> <p>② 市と医療機関が連携して、高梁市の医療機関が開いているのか、休みなのか、混んでいるのか、空いているのか、そしてどこに受診すべきかななどの情報をリアルタイムに対応する仕組みはできないか</p> <p>③ 外科、内科を持つ3病院の受付時間を、患者の要望、生活の現状を勘案して、時間の繰り下げを全市的な協力として呼びかけられないか</p> <p>(5) 周辺地域の医療の方針について</p> <p>① 医療機関に通うことが困難な市民に対して、どのような医療を提供されようとしているのか</p> <p>② 医療機関から離れた地域にお住まいの方への医療は行政として何ができて、医療機関とどういう連携が模索できるのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	7	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>(6) 高梁市医療計画検討委員会の方が中心になり、行政と協力して市内医療従事者の教育、スキルアップ体制の構築はできないか</p> <p>(7) 高梁市医療計画の情報公開、広報について</p> <p>① 策定された医療計画は、どのように高梁市内の医療従事者へ公開していくのか</p> <p>② 策定された医療計画は、どのように市民に広報していくのか</p>
9	2	5 番 石 部 誠	<p>1 市の進める行財政改革の再考を求める</p> <p>(1) 国のトップランナー方式の導入による「地方への行財政改革」は、本来あるべき地方交付税制度をゆがめるもので許しがたい。国のやり方を市民へ全面的に情報公開し、市はこれに追従することなく、地方自治や市民生活を支える観点から、国に対して見直しの要望を市長会に働きかけ、市単独でも行うべきではないか</p> <p>(2) 行財政改革プラン実施計画による将来像を示してほしい。また、計画策定に当たっては市民の暮らしや地域の実情に留意すべきではないか</p> <p>① 市職員の削減、賃金抑制と人事評価の導入は、既に40%を超える職員が非正規雇用であり、職務に対する責任、技術の継承、業務の引き継ぎ、職員のモチベーションが希薄化してくる。地域や市民生活に責任を持った自治体としての仕事ができなくなり、職員体制や職員の限界を超えているのではないか。市職員が法に定められた「全体の奉仕者」として市民のために働きたいという願いと誇りを生かせる市役所にすべきではないか。非正規雇用の職員は仕事量と内容に見合うべく正規職員に、また市民に直接接する業務についても正規職員を配置すべきではないか</p> <p>② 窓口業務の民間委託は、市民との接触が一番多い業務である。証明書等の発行業務だけでなく、市民からの相談などを通じて個々の問題への適切なアドバイスや、市民(地域)の実情を知り、それを市の施策や実務に反映させるために大切な業務である。また秘密保護の観点からも民間委託は行うべきでないと考えがいかがか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	2	5 番 石 部 誠	<p>③ 地域局や市民センターなどの出先機関の統廃合は、市民からの諸般の手続きはもちろんのこと、地域の相談事などの利便性が失われ、過疎に拍車をかけるものである。行政の身近な相談相手、また共助のためのセンターとしても必要であり、廃止すべきでないと考えがいかがか</p> <p>④ 住宅リフォーム事業の廃止について、現在の制度は市民からも業者の方からも歓迎されている。この制度は今後若者定住に特化した制度になるとしているが、補助対象を特定範囲に矮小化せず、むしろ充実拡大し公平な事業展開をすべきではないか</p> <p>⑤ ごみ収集の有料化は、他自治体の例を見ても市民負担がふえるだけで、ごみの減量化に結びついていないと考えるが、引き続き無料で行うべきではないか</p> <p>⑥ 子ども医療費支給事業の見直しについて、現在の18歳まで医療費を無料とする制度は高梁市の進んだ施策で、共産党が行った市民アンケートでも多くの市民から「ありがたい」という声が上がっており、今後も継続すべきではないか</p> <p>⑦ 学校校務員の民間委託は、公教育業務の公共性を損なう。子供たちの教育現場の環境維持や、教師と連携した業務に携わり、子供たちとの関係、教職員との信頼関係のもとに、教育を担う重要な一員である。民間委託でなく、むしろ正規職員の配置が必要ではないか</p> <p>(3) 市民(地域)要望に基づいた行財政改革プラン及び実施計画の策定を行うべきではないか。削減ありきの行財政改革では、「人づくり」も「定住促進」もあり得ない。市民(地域)生活が大変な時だからこそ、市民に展望を与える計画が必要である。国が言うままの「行革」は結局市民に負担がかかることになるので、計画案の全面的な再検討を行い、無駄と不公正な支出を減らし、市民が納得できる民主的で効率的な真の行財政改革が必要ではないか</p>
10	11	4 番 森 上 昌 生	<p>1 高梁の文化資産と観光資産について</p> <p>(1) キビザクラについて</p> <p>① 吉野善介氏の功績について、市はどのように評価しているのか</p> <p>② キビザクラを高梁の観光資源とするために市は何かアクションを起こす計画はあるか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	11	4番 森 上 昌 生	<p>(2) 「町家通りの雛まつり」について</p> <p>① 本町「町家通りの雛まつり」を市はどのように捉えているのか</p> <p>② 池上邸の活用は市が主体となって行うべきではないか</p> <p>2 過年度災害復旧工事等に係る未払金について</p> <p>(1) 今回の事件に関して市としての調査はどのような結論を得たのか</p> <p>(2) 市の組織にどのような欠陥があったのか</p> <p>(3) 当初、市から組織の業務フローの改善案が示されたが、その有効性に疑問はないのか。また、その後さらにフローの改善案があるのか</p> <p>(4) 今回、過去5年間に1億円余りの未払金が生じたとのことだが、過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会の報告の中では、慢性的な予算不足があり、現場職員には予算が通らないのではとの先入観があったとのことだが、長年こうした状況が継続していたのではないか</p> <p>(5) 市は関係業者に対してどのような調査を行ったのか</p> <p>(6) 通常の商行為においては、1年間支払いの請求がない場合、請求権が消滅するが、今回の事件で請求権はどうなるのか</p> <p>3 行財政改革について</p> <p>(1) 今後行財政改革を推進する中で、図書館の指定管理は見直しがあるのか</p> <p>(2) 現在の市の財政状況は良いとはいえない状況だが、具体的にはどのように改善するのか</p> <p>(3) 市の一人当たりの公共事業費（普通建設事業費）は県内の他市と比べ多く支出されているが、市はどのように分析しているのか</p>
11	10	7番 石 井 聡 美	<p>1 市営住宅について</p> <p>(1) 市営住宅でペットが飼えるように、ペット飼育可の物件をつくってはどうか</p> <p>(2) 市営住宅への入居を検討する段階で、設備が古いため市外に出てしまう人がいる。数戸ずつでも、施設のリフォームをするべきではないか</p> <p>2 町内会支援新制度について</p> <p>(1) 今年1年運用してみて判明した課題と、今後の改善について問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	10	7番 石井 聡 美	<p>(2) 今年のメニューはインフラ周りのことが多かったと思う。ソフト面のサービスをもっと盛り込むべきではないか。例えば、地域の交通困難者のために、福祉移送サービス認定講習を受けるための助成などがあれば、地域ボランティアの活動に資するのではないか</p> <p>(3) 町内会で大腸がん検査キット等を一括購入して全員で検査をするとといった活動にも、人数に応じた助成をすべきではないか</p> <p>(4) ごみ減量化についても、単なるリサイクル活動だけではなく、より積極的なごみ減量のアクションについて町内会から個別に募集、企画を評価して、ごみ減量化協力団体報奨金に加算してはどうか</p> <p>3 ごみ減量化について</p> <p>(1) 雑かみがリサイクル対象になっていないのはなぜか</p> <p>(2) 既に雑かみをリサイクルしている自治体も多い。ごみ減量のために、新しく雑かみをリサイクル項目に加え、分別方法などを周知すべきではないか</p> <p>(3) 戸別収集がごみ減量化につながるという知見もある。高齢者でゴミステーションまで遠くゴミ出しが困難だという話も聞く。市でもゴミの戸別収集を検討すべきではないか</p> <p>4 電子マネーによる地域通貨について</p> <p>(1) 電子マネーやスマホ決済の登場で、地域通貨の導入運用コストが下がっている。市独自、または近隣市町村と合同で電子マネーでの地域通貨をつくり、域内の経済振興や買い物での利便性を目指すだけでなく、様々なコミュニティ活動、健康維持活動などにポイントを付与するなど、インセンティブとして活用してはどうか</p> <p>5 リカレント教育について</p> <p>(1) 国でもリカレント教育が重視されてきている。市でも看護師や保育士、大型や二種の運転手、建築士、管理栄養士など今後不足することが考えられる資格職について、社会人が働きながら資格取得できるような支援や、市内企業との協働が必要ではないか</p> <p>6 幼稚園、保育園、認定こども園の入園について</p> <p>(1) 市内の幼稚園が独自に園児の募集をしている。地域を超えた入園について市の見解を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	10	7番 石井聡美	(2) 複数の園を同時に検討できるよう、市内の幼稚園、保育園、認定こども園関係者と利用を希望する保護者を集めた合同説明会を開催してはどうか